



お話をいただいたのは
近藤 嘉人先生

vol.191

こどもはスゴイ！



永久歯が生えるすき間が少ないけど大丈夫？

「せんせい、あのね、このものはをとったけど、そこにおとなのはがいるのかしらって、ママがいつたよ」

「とくに前歯は、乳歯より次に生える永久歯の方が大きいから、重なりあう歯並びになってしまることがよくあるね。でも、いつのまにか不揃いの歯並びが治つていった、なんてこともよくありますよ」

「そうなの？」

「そのときだけを見るときれいではないけれど、成長すればきれいになることがわかっている、ということから、小児歯科では前歯の生えかわりの時期を『みにくいアヒルの子の階段』と呼んでいるくらい、よく知られたことなんだ。

歯は生えたあとでも、いろんな力によって動かされるんだよ。まだ根が長くできあがっていない、生えたばかりの時がとくにね。つまり、歯並びは変化するものなんだ」

「ふ～ん」

自然の力・不自然の力

「歯を動かす力は、無意識な“自然な力”と、や矯正による“不自然な力”に分けて考えるとよいね。

自然な力は歯の周りの筋肉から伝わるもので、唇や頬の筋肉は歯を外側から押す力になるし、舌の筋肉は歯を内側から押す力になるんだ。これらの筋肉が無意識に歯を押す力のバランスがとれないと、歯並びがきれいに揃うんだね。

爪や鉛筆を咬んだり、下唇や指を吸ったりするのは歯並びを悪くするから、意識してくせを止めないと、歯並びがきれいに揃うよいよ」

歯並びの成長

「成長も歯並びがきれいに揃うように後押ししてくれるよ。

永久歯が前方へ傾斜したり、土台となる顎の骨の幅や前後が拡がったりして歯並びはゆっくり大きくなるんだけど、それは前歯がある程度の本数生えたあとなんだ」

を見極めるまでは、隣の乳歯を抜歯したり、矯正して永久歯を動かさなければいけないと思うんだ！」

「よかったです！ またぬくのかなつてどきどきしてたんだ！」

（未完）



矯正の限界

「よく『矯正で顎を広げる方がいいか』と聞かれるけど、矯正で変えられるのは歯の向きや場所、それから顎の成長の向きや量だけで、顎を拡げるのには自然な成長だけなんだよ。

こどもの歯科

日曜日も
診療しています

診療科目 小児歯科・矯正歯科
診療時間 9:00～18:30
(休憩み13:30～14:00)
[休診]木曜・祝日

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F

☎092(551)8080

<http://kodomonoshika.com>



情報クリップ

「絵本の日アワードinFUKUOKA」に全国から応募いただいた、心あたたまるエピソードを集めた本『絵本はホスピタリティの宝箱 エピソード33』が全国の書店で絶賛発売中です。詳しくは公式HPをご覧いただけます。

